

平成 21 年度 博士學位論文要旨

學位論文題名 (注: 學位論文題名が欧文の場合は和訳をつけること)

地域在住高齢者を対象とした特定高齢者の候補群と非候補群の
興味と比較について

学位の種類: 博士 (作業療法学)

首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 作業療法科学域

氏名: 中村 裕美

(指導教員名: 山田 孝 教授)

注: 1,000 字程度 (欧文の場合 300 ワード程度) で、本様式 1 枚 (A 4 版) に収めること

2005 年の介護保険制度の改正により、介護予防が重視され、生活機能が低下し要支援・要介護状態になる危険性が高い「特定高齢者」を把握するために、介護予防基本チェックリスト (以下、基本リスト) が用いられている。作業療法士は、参加者がプログラムに十分に従事できるよう、参加者の興味を反映したプログラムを提供しており、介護予防として集団プログラムを提供する際も、作業療法の視点を反映した道具 (評価法) を用いて、対象集団の興味の特性を把握することが必要だと思われた。

本研究の目的は、基本リストによる特定高齢者の候補群と非候補群との興味を比較し、介護予防における集団プログラム立案に役立てるための基礎資料を収集することであった。性別により、あるいは特定高齢者の候補群となるかどうかで興味が異なる作業を明らかにできれば、対象集団に提供する作業を絞ることができると考えた。

地域在住高齢者 269 名を対象に、日本版高齢者用興味チェックリスト (Japanese Interest Checklist for Elderly people: JICE) に示された 29 項目に対する興味の強さを、個別に聴取した。男女別に、特定高齢者の候補群と非候補群という 2 群の興味反応をカイ二乗とクラメル係数で比較した。

その結果、女性について、うつ予防で特定高齢者の候補群となった者は「園芸・野菜づくり」と「知人を訪問」に興味を示さないことと、実際に友人を訪ねることと「知人を訪問」への興味には関係があることが示された。一方、男性について、うつ予防での特定高齢者の候補者は「ペットや家畜」に興味を示さないことと、認知症予防の候補者は「収集」に興味を示さないことが示された。また、JICE の開発者らは、JICE が女性の好みを反映している作業を多く含む可能性があると示唆した。本研究の結果、高齢女性の興味を強く反映している項目は「裁縫」「踊り」「掃除・洗濯」「料理」「買い物」で、それらの作業への興味と認知症予防、うつ予防、閉じこもり予防で特定高齢者の候補になることは関係がないことが示された。